

総合メディカルグループ 環境方針

総合メディカルグループは、「よい医療を支え、よりよい社会づくりへの貢献」を社是に掲げ、医療のさまざまな社会的課題の解決に取り組んでいます。よりよい社会づくりに向けて、事業活動を通じた環境負荷の軽減と保全は不可欠であり、重要課題（マテリアリティ）との認識のもと、以下の方針を定めます。総合メディカルグループは、すべてのステークホルダーとともに、環境に配慮した事業活動を推進します。

1. 基本方針

総合メディカルグループは、環境負荷の軽減と保全の重要性を認識し、事業活動を通じて環境に対する積極的な姿勢を維持し、生物多様性の保全、温室効果ガス排出の抑制、廃棄物や排水の削減、省資源・リサイクル、汚染の予防などに努めます。

そのなかで、事業活動に関わる主な環境課題として以下を認識しています。

（1）気候変動への対応

- 薬局店舗や事業所において省エネルギー活動の推進と、気候変動の原因となる温室効果ガス排出量削減に取り組みます。

（2）循環型社会構築への対応

- お客さまへ環境に配慮した安全・安心な商品・サービスの提供に努めます。
- 持続可能な消費を推進するため、3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再生利用）の考えのもと、廃棄物の削減と資源の有効活用を推進します。

2. 法規制や協定の遵守

事業活動を行う各国、各地域における環境関連の法規制・協定および自主管理基準を遵守します。

3. 適用範囲

本方針は、総合メディカルグループのすべての役員・社員等に対し適用されます。また、総合メディカルグループに関係するステークホルダーに対して、本方針の支持と実践を期待します。

4. 教育

環境に配慮した取り組みを推進するための教育を継続的に行い、総合メディカルグループにおける環境課題に関する理解の促進および意識の醸成を図ります。

本方針の実行については、ESG 管掌役員が責任を負うものとします。また、本方針は、社会の変化・関連法令の改正・事業活動の変動等に合わせ、毎年見直しを行い、必要に応じて更新するものとします。

本方針は、総合メディカルグループ株式会社の取締役会において承認されました。

2025 年 11 月 25 日制定
総合メディカルグループ株式会社
代表取締役社長 多田 荘一郎

改訂履歴

制定・改訂日	適用開始日	改訂内容
2025 年 11 月 25 日	同左	制定
2026 年 3 月 31 日	同左	責任の所在の明確化、審査メカニズム（本方針見直しの具体的な更新費度）の追加